
ソメイヨシノ

ねこぜ

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ソメイヨシノ

【Nコード】

N1740Y

【作者名】

ねこぜ

【あらすじ】

中学受験に失敗して地元から離れた中学校に行くことになった吉坂春希は、入学してから1ヶ月後とあるきっかけでいじめられるようになってしまう。そして春希は、今後の中学生活に悲しみ、怒り、憎しみ、などの沢山の気持ちを抱いたまま、今日も学校へ向かう…

ブローグ

夕方、

辺りが時間が経つに連れて薄暗くなっていく。

母親が子供を連れて一緒に歩いていたり、学生のカップルが仲良く手を繋いで歩いていたり、仕事から解放されて疲れた顔をしながら歩いている。

そんな時間。

とある一軒の家、

一人の少年が電気を付けないで薄暗い部屋の中で、何か呟いていた。

「神様、

僕はどのような間違いを犯してしまったのですか？

何故、僕だけこんな酷い目に遭ってしまったのですか？

僕だって努力はしました。でも、結局どれだけ頑張っても何も変わっていませんでした。

とても辛かったです…

…教えてください

なんですか？

なんで神様は僕にこんな人生を送らせたんですか！」

涙を流しながら僕は叫んだ。

「でももういいです。

もう何もかも諦めます…

さようなら」

僕は椅子の上に立ち、首に縄を締め、

そして…

第1話 悩み（前書き）

はじめまして、ねこぜです。

多忙で更新が遅れるかもしれませんがなんとかやっていきたいと思っています！

それでは本編スタートです！

第1話 悩み

僕、よしざか はるき吉坂春希。

僕は小学生の時、中学受験に失敗し、行きたかったはずの大明中学たいめいに受かれなかった。

大明中学は県内でも有名で偏差値が高く、施設も充実した学校だった。それに名門校にもかかわらず僕の家から意外と近い。

でもそれだから僕が大明中に行きたかった訳ではない、なぜなら受からなかった時に後悔はしなかったからだ。

ただ…小学生の頃とても仲の良かった親友と同じ学校に行けないという事が僕にとっては何よりも悔しかった。

親友はそんな落ち込まないで違う学校でもお互い頑張っていこうと言われたが、やっぱり親友も僕と同じく本当は寂しかったのだと思う。

そして僕の行く学校は、県越えをした都会の八ノ幡中学やのはたといった大明中と真逆で、僕の家から電車で一時間掛かり、地元で八ノ幡中に

行く生徒は僕しかいないところに行くことになった。くどいようだが本当に僕は八ノ幡中に行きたくない、遠いから面倒くさいとはまったく思っていないし、後悔も何のしなかった。

ただ、

今後の中学生生活で自分は上手くやっていけるのか？、そして一人になっ
てしまわないか？…

それらが僕の唯一の悩みだった。

そんな悩みを抱えたままやがて春休みが終わり、そして僕は4月の入学式へ向かう…

第1話 悩み（後書き）

補足です。

ここでいくつかの設定を書こうかと思っています。
まず作中に出てきた八ノ幡中は私立で偏差値が普通レベルの学校、
という設定にしています。

次に主人公、春希についてです。

性格は少し明るいほうですが隠れ寂しがりや的で、少し孤独感があるような感じでイメージして頂ければ幸いです。

以上で1話の補足を終わらせていただきます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1740y/>

ソメイヨシノ

2011年11月4日07時03分発行